

スケーラブルで 効率的なIT資産管理

ネットワークに接続されているすべてのデバイスに対する可視性を向上

今日のIT環境はますます多様化、複雑化しており、環境の管理も難しくなる一方です。モバイル化に加え、「スマート」デバイス（Internet of Things）の普及により、企業ネットワークに接続されているデバイス（インベントリ、管理、保護を行う必要があるデバイス）の数と種類は大幅に増加しています。Windows®、Windows Server®、Mac® OS X®、Linux®、UNIX、iOS™、Android™など、幅広いプラットフォームを管理する必要があるれば、こうした課題が広範囲に及ぶのは明らかです。これまでは包括的な戦略がなくても「何とかできていた」組織であっても、IT資産管理（ITAM）やシステム管理の優先順位を上げざるをえなくなっています。

しかし、ほとんどのITAMソリューションには固有の問題点があり、接続されて

いるすべてのエンドポイントを包括的に把握し、管理することができません。こうしたソリューションで環境の最新の状態を把握するには、2つの選択肢しか残されていません。つまり、ソリューションの問題点を黙認し、組織をセキュリティギャップの危険にさらしつつ、不要なコストを生じさせ続けるか、追加のエンドポイントソリューションや手動のプロセスに頼るか、のどちらかです。しかし、どちらの場合も余計なリソースが必要になり、コストもかさんでしまいます。

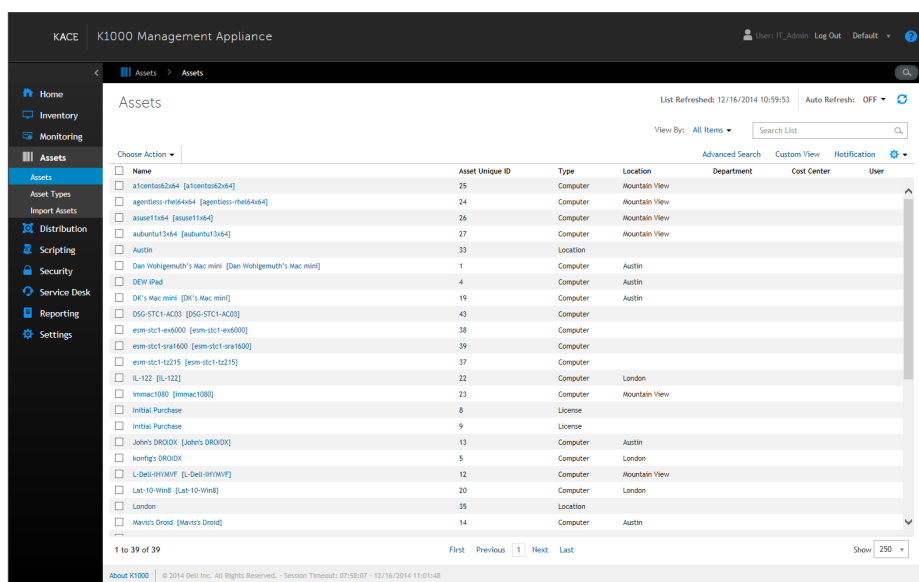
KACEシステム管理アプライアンス（SMA）は、包括的で使いやすい単一のソリューションにより、エンドポイントシステム管理を実現します。統合検出、インベントリ、資産管理、レポート作成、統合サービスデスクなど、可視性を向上させるさまざまな機能が搭載され

「KACEアプライアンスこそ、求めていたソリューションだとすぐに直感しました。価格も申し分なく、インベントリ管理、パッチ適用、コンプライアンスなど、必要な機能がすべて搭載されたオール・イン・ワン・ソリューションである点も魅力的でした。」

Matt May氏、サービス・デスク・アナリスト、Black Diamond

メリット:

- エージェント/エージェントレスのサポートにより、ITインフラストラクチャ全体を一元管理
- 高速かつ柔軟なITインベントリ・スキャン・プロトコルを通じて、各種の検出オプションに必要な機能を提供
- シームレスな拡張により、デバイスおよびオペレーティングシステムの増加に対応
- 最新のデバイスカタログを正確に作成できるため、不要な購入を削減可能
- 包括的なインベントリにより、セキュリティリスクを最小限に抑制



KACEシステム管理アプライアンスは、スピーディで柔軟なITAMを実現。組織のネットワークにアクセスしているすべてのデバイスを分かりやすく正確に、かつリアルタイムで可視化します。

「KACEアプライアンスによってインベントリを効率的に管理できるようになったため、担当者がライセンスの問題で業務を中断することがなくなり、お客様によりよいサービスを提供できる時間が増えました。」

Greg Taylor氏、IT部門マネージャ、
Ward Hadway

ています。PC、Mac、Chromebook™、サーバなどに加え、モバイルデバイスやコンピュータ以外のデバイスなど、さまざまなシステムやコネクテッドデバイスで利用できます。さらにKACE SMAでは、Windows、Mac、Linux、UNIXシステムのハードウェアとソフトウェアのインベントリに加え、Chromebookのハードウェアインベントリに関する詳細な情報も提供します。管理エージェントやエージェントレスのネットワークスキャンを通じて、ネットワーク全体のハードウェアとソフトウェアの構成を自動検出し、詳細なデバイスインベントリを可能にします。

特長

スケーラブルなIT資産管理

KACE SMAでは、エージェントベースとエージェントレスベースの両方の検出機能を備えており、接続されているあらゆるシステムおよびデバイス（PC、Macコンピュータ、Chromebook、Windows Server、Linux/UNIXシステム、モバイルデバイス、コンピュータ以外のデバイス（プリンタ、ネットワークデバイス、電源、ストレージ）など）を対象とする資産管理を可能にします。KACEの資産管理機能は、KACEのレポート作成とサービスデスクのワークフローおよびプロセスと統合されており、アプライアンスの管理コンソールを通じてシームレスに利用できます。このため、1つのコンソールでインフラストラクチャプラットフォームをほぼ無制限に管理できます。KACE SMAのセットアップはわずか数日、トレーニングもわずか数時間で済みます。

KACE SMAは、100を超えるオペレーティングシステムとデバイスをサポートしており（さまざまなバージョンに対応）、市販されているほぼすべてのバージョン（新旧問わず）のオペレーティングシステムを管理できます。このため、シームレスな拡張が可能です。

検出スキャンプロトコルはSSH、Telnet、SNMPなどのさまざまなプロトコルから選択できるため、スキャンオプションの柔軟性が高く、検出も短時間で完了します。また、1つまたは複数のサブネットのデバイスをスキャンでき、特定のポートをリッスンしているデバイスを検索するスキャンを定義することもできます。

エージェントレスのインベントリにより、より幅広いデバイスのITAMが可能

エージェントレスのインベントリおよび資産管理にオプションで対応していますので、幅広い範囲のデバイスを管理できます。このアプライアンスのエージェントレスの各種機能を使用すると、接続されているコンピューティング以外のエージェント非対応デバイス（プリンタ、ネットワークデバイス、ストレージデバイスなど）を管理できます。また、管理機能の一環として、受信および追跡が必要な特定のSNMPオブジェクト識別子をデバイスごとに選択することが可能です。さらにKACEアプライアンスでは、特定のタイプの情報を受け取ったときに（プリンタのトナー残量が少なくなったときなど）、アラートを生成できるほか、サービス・デスク・チケットを作成することもできます。

Windows、UNIX、Linuxサーバなどのミッションクリティカルなデバイスを管理する際にも、こうしたエージェントレスの機能が最適です。ミッションクリティカルなシステムにおいても、エージェントをインストールするかどうかにかかわらず、ハードウェアとソフトウェアのインベントリ、レポート作成、サービスデスクなどにおいて、同レベルの資産管理を実現できます。

可視性の向上によるセキュリティの強化

デバイスやオペレーティングシステムの種類が増えるに連れて、セキュリティ攻撃のリスクも急激に増大します。柔軟なスキャンオプションを備えたKACE SMAなら、企業ネットワークに接続しているデバイスを迅速に検出、特定、分析できるため、潜在的なセキュリティ脆弱性を迅速に割り出すことが可能です。

QUESTについて

Questでは、複雑な問題をシンプルなソリューションで解決することを目的としています。当社は、優れた製品と優れたサービスを大切に、シンプルにビジネスを行うという全体的な目標を重視する哲学をもって、これを達成しています。当社のビジョンは、効率性と有効性のどちらかを選ばなければならぬような状況をつくらぬテクノロジーを提供することです。これにより、お客様と組織はIT管理の時間を短縮し、より多くの時間をビジネスの革新に費やすことができます。

KACE SMAバージョン7.0以降で利用できる新機能:

機能	説明
バーコードのスキャン	直感的に使える完全統合型のモバイル・バーコード・スキャン・ソリューションにより、IT資産の管理とオンボーディングを行えます。
デバイスのアーカイブ	アクティブなインベントリからデバイスを手動で削除したり、指定した時間が経過したら自動で削除されるように設定したりできます。デバイスの履歴は保持しておき、正確なレポートの作成およびコンプライアンスの達成に役立てられます。
複数のアプライアンスにまたがるレポートの作成	すべてのKACEシステム管理アプライアンスのデータを取り込んだ単一の統合レポートを、定期的または臨時で作成できます。
ユーザの関連付け	ログイン履歴に基づいて、デバイスおよび資産のレコードとユーザを一对多の関係で関連付けることができます（手動でも自動でも行えます）。管理者はアプライアンスを通じて、資産およびデバイスの所有権を継続的に把握し、レポートを作成できます。エンドユーザはユーザコンソールを通じて、割り当てられたデバイスをより詳細に可視化、制御できます。
ユーザプロファイルの管理	プロフィールページ（アプライアンス経由でアクセス可能）で、ユーザの詳細を確認できます。「Manager（マネージャ）」フィールドなど、ユーザアカウントの属性をLDAPまたはCSVでインポートできます。プロフィールページの詳細情報と基本設定を、ユーザ自身で更新することが可能です。
VMwareのインベントリおよび資産の追跡	仮想マシンが存在するホストシステムおよびゲストシステム間の関連性について把握し、レポートを作成できます。物理サーバごとに各ゲストマシンのリソース消費量をVMレベルで把握できるため、あまり使用されていない資産や過度に使用されている資産を管理者が素早く特定し、最適化できます。7.0では、VMware vCenterとESX/ESXiもサポートしています。
エージェントの改善	ウェルノウンポートを活用することで、サーバエージェントの通信の信頼性と拡張性を高め、専用ポート（52230）を不要にします。
ソフトウェアのブラックリスト	ファイルの説明やバージョン情報など、ファイル名以外の情報を使ったブラックリストを作成して、適用できます。エンドユーザがアプリケーションの名前を変更してブラックリストを回避する、という事態を防げます。
AirWatchとの連携	エンタープライズモビリティ管理における主要ベンダーであるAirWatchと連携し、モバイルデバイス上のインベントリ情報をKACE SMAにインポートできます。

システム要件

システム要件の詳細な一覧については、KACEシステム管理アプライアンスの製品ページにアクセスして、「Specifications（仕様）」タブをクリックしてください。

quest.com/products/kace-k1000-systems-management-appliance/